

報告

北海道看護協会との懇談会

当会では、医療・看護にかかわる諸問題について意見・情報交換するため、毎年1回、北海道看護協会と定例懇談会を開催している。主催は交代制で、今年は看護協会が当番で7月2日(水)午後6時から行われた。

冒頭、若山看護協会会長から、看護基礎教育4年制への流れにあることを含めた開会挨拶があり、当会長瀬会長からは、日頃の種々の協力に感謝の挨拶を述べた。

続いて若山会長から、平成20年度の協会重点事業として、①ワークライフバランスの啓発；新人および長期勤務者の離職率が高いことから、生活と労働

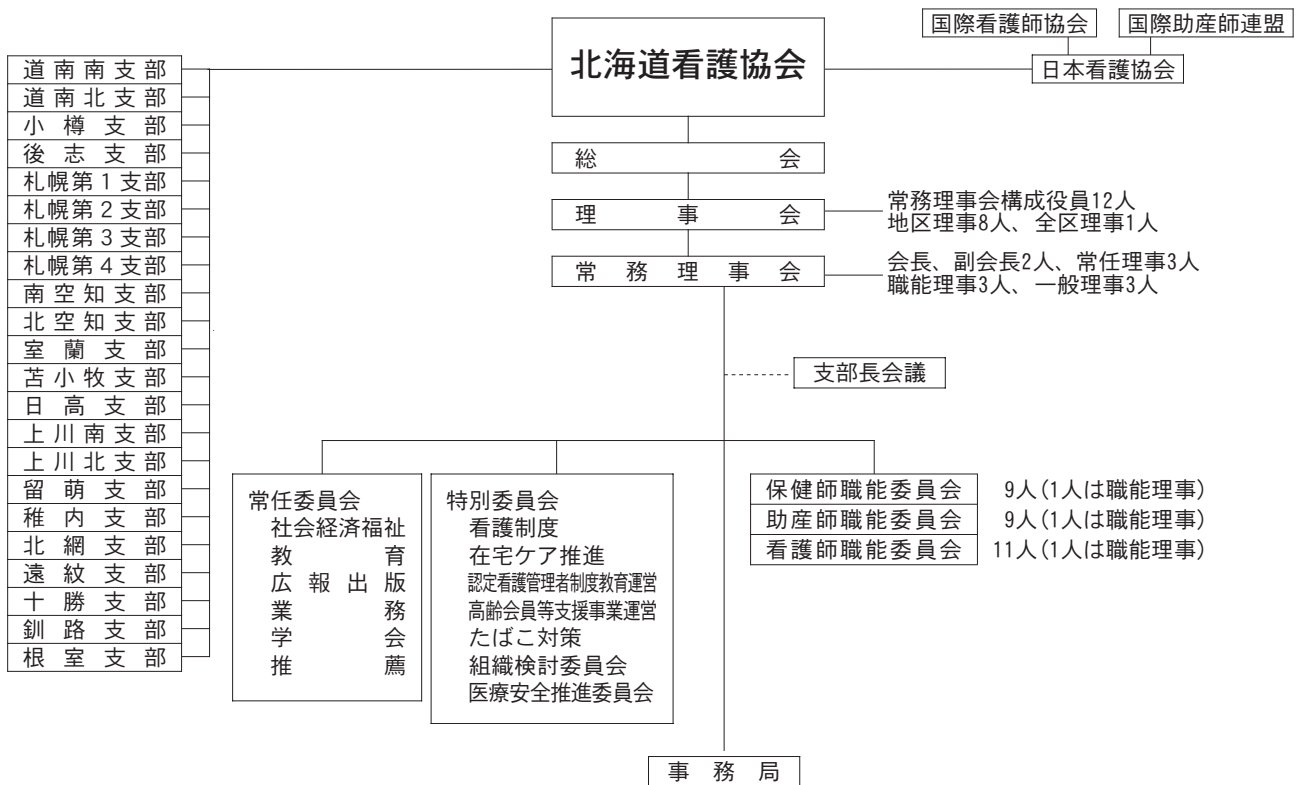
のより良い均衡、あるいは多様な働き方を勧め、これにより潜在看護師の復職を促進したい。②キャリア開発を支援する新教育計画の実施；介護保険施設におけるリーダー研修。③病院看護師と訪問看護師の連携強化・促進；在宅ケア、がん・糖尿病の看護研修(北海道委託事業)。④医療安全管理者の人材育成とネットワークづくり；管理者養成研修会。⑤災害時支援体制の整備；体制は構築済み。災害時派遣者として現在78名が登録している。⑥看護職のたばこ対策と禁煙支援リーダー育成；平成19年調査で喫煙率29.8%と全国平均より10%高い。今後も対策を強化したい。⑦職場の暴言・暴力対策；調査では3人に一人が経験ありの回答があった。と項目ごとに説明があった。

当会からは、三宅副会長が「後期高齢者医療制度」について、その創設・施行の経緯、制度の四素案、老人保健制度の限界、保険料算定方式、また日医の定例記者会見資料をもとに、高齢者医療制度の基本的問題について、制度設計、公費負担のあり方、財源論等全般にわたり解説した。

その後、懇親会に移り、種々意見交換しながら有意義に会を終了した。

—医療関連事業部—

社団法人北海道看護協会組織図・機構図



組織率

	18年2月就業者	20年5月会員数	入会率
保健師	2,549	1,243	55.8%
助産師	1,245	1,055	74.0%
看護師	43,450	28,304	65.1%
准看護師	23,589	5,275	22.4%